

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：総合グラウンド陸上競技場大規模改修）整備事業						
補助事業者名	佐世保市長						
実施場所	長崎県佐世保市椎木町無番地						
補助事業の成果の目標	陸上競技場は、年間330日以上使用しており、長崎県北地域のスポーツイベントの主会場として使用されていることから、当施設を引続き使用することは、佐世保市民及び周辺住民の健康増進及び地域の交流を図る上で不可欠な施設となっています。しかし、建築後40年を経過しており、各所に段差があるなど、高齢者や身体障がい者が安全かつ快適に利用できる環境を整える為、改善を要する状況にある。よって当該施設内のトイレ等の改修（バリアフリー化及び設備の更新）を行うもの。						
補助事業の内容	陸上競技場トイレ改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 4,981,299	円	円	円	円	円 4,981,299
	交付金額	4,418,000					4,418,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	施設利用者へアンケート調査を実施したところ、きれいで使い易くなったとの評価を頂くと同時に安全安心な施設の改善に寄与することができた。また、建物内部に特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施した旨の表示を行い利用者へ周知した。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設 (消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車) 整備事業						
補助事業者名	佐世保市長						
実施場所	佐世保市浅子町37番地36 (佐世保市消防団第43分団浅子分駐所)						
補助事業の成果の目標	佐世保市消防団(60分団)では、103台の消防車両を活用し、火災等の災害から市民の生命、財産を保護するため消防活動を行っており、配備されている小型動力ポンプ付積載車は消防力を維持するうえで必要不可欠な消防車両である。 消防車両については、配置から20年以上経過し老朽化等により不具合の多い車両の更新配置を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	小型動力ポンプ付積載車 1台						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 5,346,000	円	円	円	円	円 5,346,000
	交付金額	4,356,000					4,356,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	小型動力ポンプ付積載車を購入配備したことにより、従前に増して消防施設が整ったことから地元消防団より「火災等の消防活動を円滑に実施できるようになった」との意見が寄せられており、地域住民の安全確保に寄与することができた。 小型動力ポンプ付積載車に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(防衛省)の表示を行うと共に、佐世保市消防局ホームページに事業実績を掲載することにより、地域住民への周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設 (消防に関する施設：消防団格納庫) 整備事業						
補助事業者名	佐世保市長						
実施場所	佐世保市有福町820-6、822-2						
補助事業の成果の目標	現在の佐世保市消防団第3分団有福分駐所は建物の老朽化も激しく、団員の駐車スペースも確保できていないため、団員招集時は事前に台数を調整し招集している状況であり改善を要する状況にある。本事業により、格納庫を移転して新築することで、格納庫の活動環境改善を行い、消防活動の円滑化を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	消防団第3分団有福分駐所格納庫の建設 木造平屋建 A=59.62㎡						
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		25年度	26年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 3,321,000	円 17,926,920	円	円	円	円 21,247,920
	交付金額	3,136,000	14,610,000				17,746,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	所属団員より活動環境が大幅に改善された(駐車スペースが広くとれるようになったことにより、召集から出動まで速やかな活動ができるようになった等)との意見があった。周知方法としては本消防団格納庫へのプレートの設置、工事案内文への記載、市ホームページへの掲載(工事の完了)を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設 (産業の振興に寄与する施設：イノシシ捕獲用箱わな) 整備事業						
補助事業者名	佐世保市長						
実施場所	佐世保市						
補助事業の成果の目標	<p>佐世保市では、イノシシによる水稻の食害などの農作物被害及び街中への出没による車両との衝突事故などの生活環境被害が問題となっており、平成23年度までに調整交付金以外の事業により箱わなを933基設置しているところである。</p> <p>それにより、農作物被害額は平成24年度は3,279万円、平成25年度は2,353万円と減少しているものの、依然として高い被害額となっている。また、生活環境被害に関する市民からの相談も年間200件程度となっている。</p> <p>このため、平成23年度までに調整交付金以外の事業により整備した箱わなと併せ、調整交付金で導入する箱わなを活用し、佐世保市におけるイノシシによる農作物被害及び生活環境被害の軽減を図る。平成26年度整備後の年間の箱わなによるイノシシ捕獲目標は、前年度の捕獲数を上回ることにする。</p> <p>(参考指標) 過去のイノシシ捕獲実績 平成24年度 5,113頭 平成25年度 5,628頭</p>						
補助事業の内容	整備基数 308基(平成24年度～平成26年度) 整備基数 88基(平成27年度予定)						
補助事業の始期及び終期	平成24年度から平成27年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度	27年度 予定		計
	事業費	円 4,118,100	円 3,717,000	円 2,827,386	円 2,728,000	円	円 13,390,486
	交付金額	3,500,000	3,500,000	2,800,000	1,909,000		11,709,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>箱わなによるイノシシの捕獲実績が、平成27年1月～12月までで5,960頭となっており、農作物被害等の軽減が図られている。</p> <p>市民への周知については、箱わなに「特定防衛施設周辺整備調整交付金」で導入した旨の表示を行うとともに、市のホームページへの掲載を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共施設整備事業 (教育文化施設：図書館改修)					
補助事業者名	佐世保市長					
実施場所	佐世保市立図書館 佐世保市宮地町3番4号					
補助事業の成果の目標	<p>佐世保市立図書館空調設備について、経年劣化に伴う補修・修繕が毎年発生し、その都度、修繕対応を行っている状況であったが、製造元における当該設備用の部品の生産はすでに停止しており、さらに使用停止しているものもあったことなどから、室温の設定が困難な状況となっていた。</p> <p>また、当時、図書館内の相対湿度が、「建築物環境衛生管理基準」に定める基準値を超えている箇所が存在しているため、図書にかびが発生するなど適さない環境となっていた。</p> <p>このため、空調設備を全面的に更新し、相対湿度を基準値内に収めることができる設備へ改修し、利用者に対し、快適な環境を継続して提供できるようにする。</p> <p>(参考指標) 「建築物環境衛生管理基準」に定める基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度の基準値 (17～28℃) ・相対湿度の基準値 (40～70%) 					
補助事業の内容	<p>図書館空調設備改修工事 一式</p> <p>平成25年度 図書館(2・4階)空調設備改修工事</p> <p>平成26年度 図書館(1・3階)空調設備改修工事</p>					
補助事業の始期及び終期	平成25年度～平成26年度					
事業費及び交付金額		25年度	26年度			計
	事業費	円 43,178,654	円 26,844,187			円 70,022,841
	交付金額	39,292,000	25,116,000			64,408,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>平成25年度から平成26年度の2ヵ年にわたり施工を行い、平成27年度から全面的な利用開始となった。</p> <p>本事業により安定的な空調管理環境が整備されたことから、利用者の利用環境の改善がなされ、暑寒に関する苦情がなくなった。</p> <p>また、湿度管理機能が向上したことにより、気温・湿度が上昇する夏場にかけて、図書の管理環境についても改善がなされ、利用者に快適な環境を提供することができている。</p> <p>(図書館内の空気環境測定(2か月に1回)を行い、温度及び相対湿度が「建築物環境衛生管理基準」に定める基準内にあることを継続して確認している。)</p> <p>周知については、図書館内の施工した各部屋に、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により整備した旨を表示し、周知を行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共用施設（交通施設：宮の浦循環線）整備事業						
補助事業者名	佐世保市長						
実施場所	長崎県佐世保市針尾北町						
補助事業の成果の目標	<p>本路線は、宮の浦地区と国道202号とを結ぶ生活道路であるが、現況の幅員が2.5m程度と狭隘であるため、車両の離合が困難であり、緊急車両の通行に支障をきたしている。</p> <p>当該路線を拡幅改良することにより、針尾島弾薬集積所に近接する当該地区住民の交通の安全性及び利便性の向上が図られる。</p>						
補助事業の内容	改良工事 延長L=270m、幅員W=5m						
補助事業の始期及び終期	平成22年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	事業費	円 5,733,000	円 7,920,000	円 10,210,000	円 7,900,000	円 6,010,000	円 37,773,000
	交付金額	5,500,000	7,167,000	8,689,000	7,218,000	4,841,000	33,415,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>道路幅員が拡幅されたことから、車両の離合及び緊急車両の通行が容易になり、地域住民から「以前より離合が容易になった」との意見が寄せられた。これら交通施設が改善されたことにより、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。</p> <p>特定防衛施設周辺整備調整交付金（防衛省）により実施される旨を明記した工事案内文書を用い、地域代表者へ説明を行うことで、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	佐世保港に所在する防衛施設関連公共施設 (交通施設：新鹿子前トンネル照明灯) 整備事業						
補助事業者名	佐世保市長						
実施場所	長崎県佐世保市赤崎町、鹿子前町						
補助事業の成果の目標	<p>本トンネルは、佐世保市市街地と相浦地区を結ぶ幹線道路である市道佐世保相浦循環線の一部であり、昭和55年に建設された。トンネル建設時に設置された照明設備は耐用年数を経過しており、引き続き安定的に使用するために、当該設備の更新が必要となっている。</p> <p>トンネル照明を更新することで、道路利用者の安全を確保するとともに、省エネルギー・長寿命のLED照明器具に交換することで、電力使用量の削減と、照明灯取替に係る交通規制の期間が縮減できることで、交通量が多い本路線の利用者の利便性向上を図る。</p> <p>(参考指標)電力使用量の35%削減(25年度実績35,488KWh)</p>						
補助事業の内容	トンネル照明設置工事 LED灯 24灯						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 8,240,400	円	円	円	円	円 8,240,400
	交付金額	6,716,000					6,716,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>改修後の電力使用量は、平成27年4月～平成28年2月を確認したところ、約46%削減できていることを確認し、照明設備を更新したことにより安定的に使用できるようになった。また、照明灯取替に係る交通規制もなく、交通量が多い本路線の利用者の利便性向上が図れた。</p> <p>周知については、施工時に設置する工事看板に、特定防衛施設周辺設備調整交付金事業である旨を記載して、トンネル利用者へ周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。